

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和6年度		
施設名	秋田県営男鹿オートキャンプ場	設置年	平成 11 年
所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山1-1		
指定管理者	株式会社おが地域振興公社		
県所管課	観光戦略	課	観光地域マネジメント推進 チーム

1 施設の概要

設置目的	恵まれた自然の中で県民が自由時間を利用して行う観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、ゆとりのある県民生活の実現に寄与するとともに、県内外の交流を促進し、地域の活性化を図る。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 人口減少の進行やデジタル技術の進展等のほか、コロナ禍により旅行ニーズの個人化・個性化が一層強まるなど、観光を取り巻く環境が大きく変化している中、自立した稼ぐ観光エリアの形成に向けた地域観光を担う施設 新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として施設に求められているもの 旅行者の多様なニーズに応じたサービスの提供					
施設の面積	敷地面積103,279.00㎡、延床面積1,308.91㎡					
主な設置施設	管理棟、コテージ、サニタリー棟など					
指定管理業務の内容	料金制	有（完全利用料金制）				
	料金設定	入場料 大人500円 小中生250円 オート4,500円(1,700円)広場2,200円(1,100円) キャンピングカー6,600円(2,300円)コテージ13,500円(4,500円)※カッコ内日帰り料金				
	サウンディング実施対象施設※					
	指定期間	R3.4.1 ～ R8.3.31				
	営業期間・時間	4月10日～11月30日 ※コテージは通年				
	秋田県営男鹿オートキャンプ場に関する次の業務 ①管理運営業務②施設整備維持管理業務 ③企画運営業務④事務処理業務					
自主事業の内容	①男鹿市と協力し、男鹿市内小学5年生を対象とした宿泊体験を実施 ②手ぶらでのキャンプを5月～10月を開催(高級キャンプ・シェルツ)テント設営やキャンプ用品はキャンプ場で用意。お客様は、飲食品を持ち込むだけでキャンプが出来る					
直近3年の年間利用者数	R4	8,442 人	R5	7,238 人	R6	5,627 人
直近3年の年間利用収入	R4	21,468 千円	R5	20,213 千円	R6	16,794 千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R2	R3	R4	R5	R6
収入 計		14,664	17,691	21,468	20,213	16,794
利用料金収入		12,860	15,368	19,078	18,381	14,795
指定管理料						
その他収入		1,804	2,323	2,390	1,832	1,999
支出 計		14,379	17,448	19,595	21,002	20,562
人件費		4,284	8,925	9,398	9,960	12,615
光熱水費		1,475	1,880	2,744	2,820	2,518
修繕費		774	469	897	1,807	228
外部委託費		647	839	1,106	760	682
その他経費		7,199	5,335	5,450	5,655	4,519
差 引		285	243	1,873	▲ 789	▲ 3,768

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

＜観点Ⅰ＞ 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和6年度 の目標	利用者数 8,000人
--------------	-------------

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	実績	5,627人	達成率	70.3%	
	具体的な 取組と その効果	隣接の温泉施設閉館や利用者の多い週末が雨天が多く、最大の繁忙期にあたるお盆期間に台風(8/11)があり利用者が減少。秋に利用増になるよう高級キャンプの発信をSNSで強化し利用減を減らすよう努めた			
直近3年 の実績	年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標	6,300人	6,900人	8,500人	
	実績	6,858人	8,442人	7,238人	
	達成率	108.9%	122.3%	85.2%	
令和7年度 の目標 (設定根拠)	目標	利用者数 8,500名			
	設定根拠	R6年度は繁忙時に雨が多かった為、R4年度の利用者数を設定。高級キャンプの設定日を大きく増やし利用増を図る。又、団体利用促進のため営業(訪問・広告)を強化する。			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

＜観点Ⅰ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	C	週末が雨天お盆台風と繁忙期に天気に恵まれなかったことが大きく影響した。 しかし、自主事業がテントオープン期間で開催でき、好評だったため、次年度も継続開催する。
	県 (所管課)	C	施設の性質上、天候に左右される部分が大きく、近年の気象状況も勘案すると、自主事業の充実等による集客アップといった努力が望まれる。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。
A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)
B: A及びC以外
C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和6年度 の実績	実績	74.8%(利用者アンケートによる)		
	具体的な 取組と その効果	場内環境美化整備を徹底。隣接の温泉施設閉館で満足度が低下したが、コインシャワーの利用促進を働きかけた。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R3年度	R4年度	R5年度	
	75.5%	76.3%	78.2%	

＜観点Ⅱ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	B	隣接する温泉施設の閉館が影響しているが、場内施設等の清掃等に努めたことにより、利用者からは一定の評価を得ている。
	県 (所管課)	B	温泉郷との連携による温泉利用希望客へのフォローの充実を図り、利用者満足度の向上に努める必要がある。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	経費の 低減実績	R6年度経費20,562千円(対前年度比97.9%、▲440千円)
	具体的な 取組と その効果	アルバイトの勤怠管理の効率化等により人件費削減を図ったが、R5年度末に他の管理施設が閉館したことによる、他施設と分担していた人件費の増加分の影響が大きく、低減実績は対前年度比▲2.1%に止まった。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	収入の 増加実績	R6年度収入額16,794千円(対前年度比83.1%、▲3,419千円)
	具体的な 取組と その効果	委託・備品費の削減等を行い経費増加を抑えたが、繁忙日の雨天が多かった影響で収入が大きく減少した。

＜観点Ⅲ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	支出削減を図ったが、天候の影響により想定より収入の増加が見られなかった。
	県 (所管課)	B	施設の性質上、天候に左右される部分が大いことから、支出削減に頼らず、集客アップに向けた新たな取り組み等が望まれる。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	○地域や関係団体との連携 市役所と連携し市内小学校を対象とした宿泊体験の実施やDMO推進室と共催で高級キャンプの開催等を行ったほか、男鹿市内各観光施設と情報交換をし、誘客に務めた。また、隣接の温泉施設閉館に伴い、お客様に不便が出ないようコインシャワーの利用促進、男鹿温泉郷ホテルの日帰り利用案内を行った。 ○安全対策 必要に応じた修繕を行い、安全に利用できるよう管理した。 ○危機管理 事故防止マニュアル及び緊急連絡体制を整備した。 ○人員配置 サービスに支障が出ないよう適切な人員配置をした。
--------------	---

＜観点Ⅳ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	顧客ニーズに応えるため、アンケート・声かけ等で希望を把握し要望に応え、自主事業開催等を開催し集客に努めた。
	県 (所管課)	B	利用者の安全に配慮がなされているほか、地元自治体や団体と連携した企画・運営が行われている。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

男鹿地域のアウトドア拠点として利用されており、周辺地域への観光誘客に寄与している。

○施設運営の課題

設置から26年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。

○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

宮沢海岸オートキャンプ場も含め、男鹿エリアにおけるアウトドア観光拠点としてのあり方を再検討していく必要がある。

【外部有識者委員会による評価(提言):令和 年度実施】

※今年度評価対象施設は、外部有識者委員会終了後、行政経営課が記載の上で公表する。

評価(提言)

○施設の管理運営状況について(<観点Ⅰ>～<観点Ⅳ>に対するコメントを記載)

- ・利用者目標は達成できていないが、施設運営についてホームページ等から様々な工夫を凝らしている点が見えることは評価できる。
- ・利用者数の増加に向けては、男鹿市総合運動公園を利用した学生との周遊等、観光施設以外の周辺施設とのさらなる連携について検討が必要。

○県の施策達成に向けた施設運営について

(県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方を踏まえてコメントを記載)

- ・男鹿市内に県有オートキャンプ場が2施設あるが、例えば片方へ集約・統合するなど、効率的な施設保有について要検討。

【外部有識者委員会による評価(提言)を踏まえた今後の対応方針:令和 年度策定】

今後の対応方針

指定管理者(施設の管理運営等について今後の対応方針を記載)

- ・市と連携し男鹿市総合運動公園でのスポーツ大会に出場する団体に宿泊の空き状況を提供するなど情報発信を強化するほか、大会参加者等にレンタル用品の割引などを行うことで利用者増を目指す。

県所管課(県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針を記載)

- ・今後の施設のあり方について地元の男鹿市と意見交換を行っており、引き続き効率的な施設保有等について検討していきたい。

(10男鹿オートキャンプ場) 指定管理者制度導入施設評価票 別紙 (料金表)

秋田県営男鹿オートキャンプ場

区分			使用の単位	利用料金の額
入場料	小学校児童及び中学校生徒		1 人につき	250円
	一般			500円
施設等利用料	テントサイト	宿泊	1 区画 1 泊につき	4, 500円
		日帰り	1 区画 1 回につき	1, 700円
	キャンピングカーサイト	宿泊	1 区画 1 泊につき	6, 600円
		日帰り	1 区画 1 回につき	2, 300円
	広場兼用テントサイト	宿泊	1 区画 1 泊につき	2, 200円
		日帰り	1 区画 1 回につき	1, 100円
	コテージ	宿泊	1 区画 1 泊につき	13, 500円
		日帰り	1 区画 1 回につき	4, 500円
	シャワー		1 回につき	300円

備考 この表における「小学校児童及び中学生生徒」には、これらの者に準ずる者を含むものとする。